

第2講

祭りは、何がなんでもやりたんや！－祇園祭，町政を変える－ (2020年度第2問)

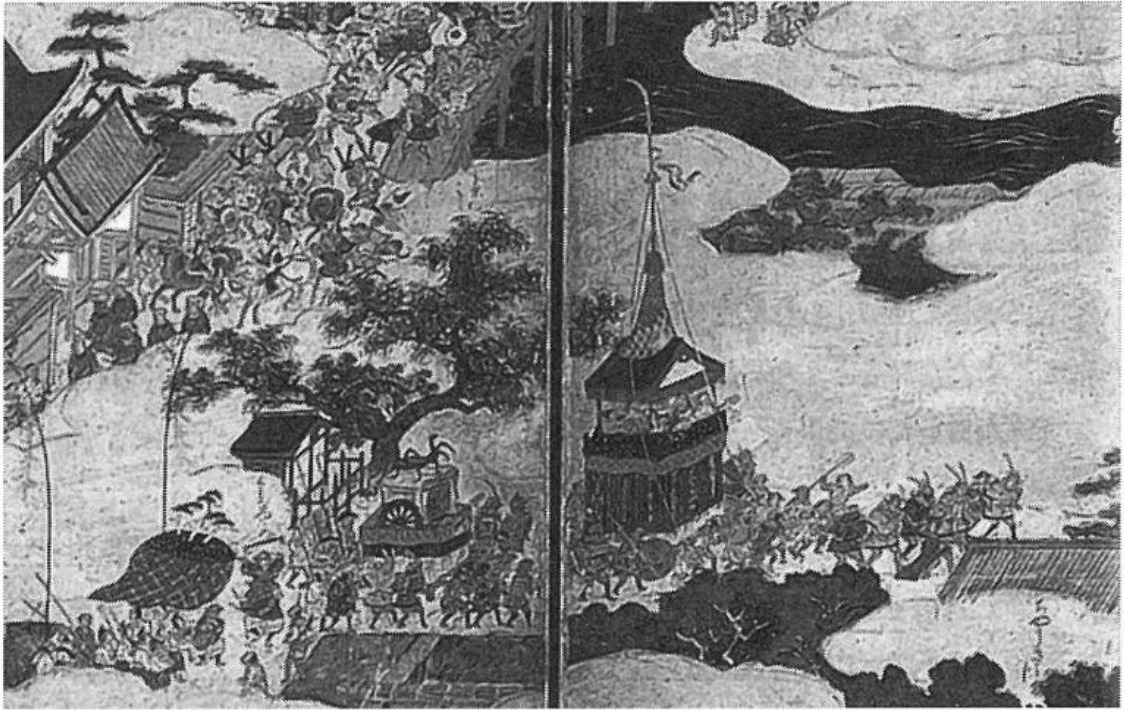
京都の夏の風物詩である祇園祭で行われる山鉾^{じゆんこう}巡行は、数十基の山鉾が京中を練り歩く華麗な行事として知られる。16世紀の山鉾巡行に関する次の(1)～(4)の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

- (1) 1533年、祇園祭を延期するよう室町幕府が命じると、下京の六十六町の月行事たちは、山鉾の巡行は行いたいと主張した。
- (2) 下京の各町では、祇園祭の山鉾を確実に用意するため、他町の者へ土地を売却することを禁じるよう幕府に求めたり、町の住人に賦課された「祇園会出銭」から「山の綱引き賃」を支出したりした。
- (3) 上杉本『洛中洛外図屏風』に描かれている山鉾巡行の場面をみると(図1)、人々に綱で引かれて長刀鉾^{なぎなたぼこ}が右方向へと進み、蟪蛄^{とうろう}(かまきり)山、傘鉾^{やま かさぼこ}があとに続いている。
- (4) 現代の京都市街図をみると(図2)、通りをはさむように町名が連なっている。そのなかには、16世紀にさかのぼる町名もみえる。

設問

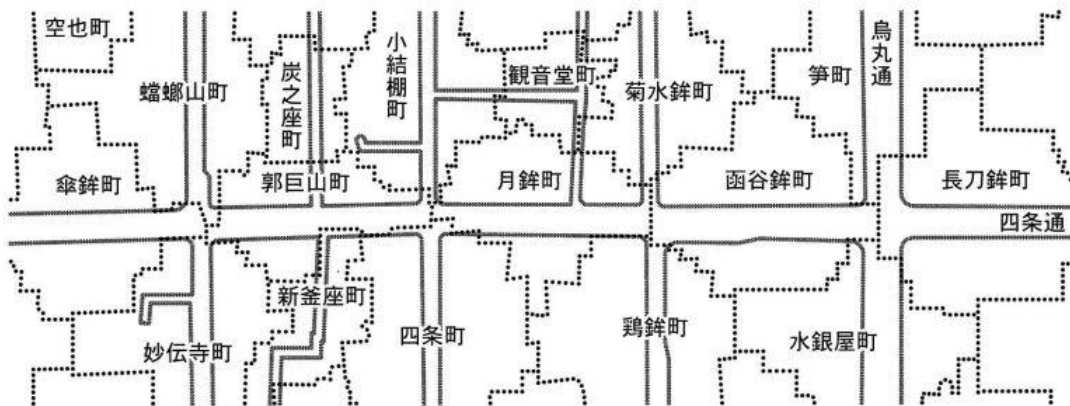
16世紀において、山鉾はどのように運営され、それは町の自治のあり方にどのように影響したのか。5行(150字)以内で述べなさい。

図 1



(『国宝 上杉本 洛中洛外図屏風』米沢市上杉博物館より)

図 2



.....は町の境界である。

解いてみましょう (第2講) について

1 問われている (求められている) ことを確認する。

ア (ア) に (イ) がどのように (ウ) されたか
を書く。

イ その (ウ) 方法が, (エ) に与えた
(オ) について書く。

ウ 5行 (150字) 以内で書く。

2 資料と教科書 (山川出版社『詳説日本史B』) の内容とを照らし合わせる。
関係する教科書のページと内容は,

教科書の



3 与えられた資料をもとに作成した「東大チャート」を解く。

次のページに「東大チャート」があります。上記の【教科書の記述】の内容は記されています。

東大チャート 「山鉾の運営が京都の町の自治に与えた影響」(2020年度第2問)

()へは、ほぼ抜き出して入れる。)へは、考えて「決めぜりふ」を入れる。

求められていることは
 (7) に (イ) がど
 のように (ウ) されたか。その
 (ウ) が (エ)
 に与えた (オ) について書く。

(1) 1533年、祇園祭を延期するよう室町幕府が命じると、下京の六十六町の月行事たちは、山鉾の巡行は行いたいと主張した。

【教科書の記述】

京都のような古くから続く政治都市にも、富裕な商工業者である町衆を中心とした都市の自治的団体である町が生まれた。惣村と同じように、町はそれぞれ独自の町法を定め、住民の生活や営業活動を守った。さらに、町が集まって町組という組織がつけられ、町や町組は町衆の中から選ばれた月行事の手によって自治的に運営された。応仁の乱で焼かれた京都は、これらの町衆によって復興され、祇園祭も町を母体とした町衆たちの祭として再興された。(P. 152. L6 ~ L12)

(2) 下京の各町では、祇園祭の山鉾を確実に用意するため、他町の者へ土地を売却することを禁じるよう幕府に求めたり、町の住人に賦課された「祇園会出銭」から「山の綱引き賃」を支出したりした。

(3) 杉本『洛中洛外図屏風』に描かれている山鉾巡行の場面をみると、人々に綱で引かれて長刀鉾が右方向へと進み、螭螂山、傘鉾があとに続いている。

(4) 現代の京都市街図をみると、通りをはさむように町名が連なっている。そのなかには、16世紀にさかのぼる町名もみえる。

祇園祭は、京都の富裕な商工業者である
 ① の中から選ばれた ②
 たちによって ③ に (ウ)
 された。
 各町は、祇園祭の (イ) を確実に用意
 するために、町の ④ が、 ⑤
 の者へ ⑥ を ⑦ することを
 禁じるように ⑧ に ⑨。
 それは、 ④ に「祇園会出銭」を賦課し
 て (ウ) の ⑩ を徴収するた
 めであった。
 ↓
 ④ の生活への ⑪
 するようになった。
 図を見ると ⑫ をはさんで ⑬
 が連なっており、その ⑬ は (イ)
 と同じものが多い。
 ↓
 一緒に (イ) を巡行する ⑫ を
 はさんで ⑥ を持つ ④ 同士
 の ⑭

抜き出したものをまとめる

祇園祭は、京都の富裕な商工業者である ① の中から選ばれた ②

たちによって ③ に (ウ) された。

各町は、祇園祭の (イ) を用意するための ⑩ を確実に徴収する

ため、⑧ に要請して町の ④ が、⑤ の者へ ⑥

を ⑦ することを禁じるなど ④ への ⑪ した。

その一方で、一緒に巡行した (イ) の名が ⑬ となったように、

⑫ をはさんで ⑥ を持つ町の ④ 同士の

⑭ 。



4 150字に要約する。

今回、問題を解くことで学んだこと